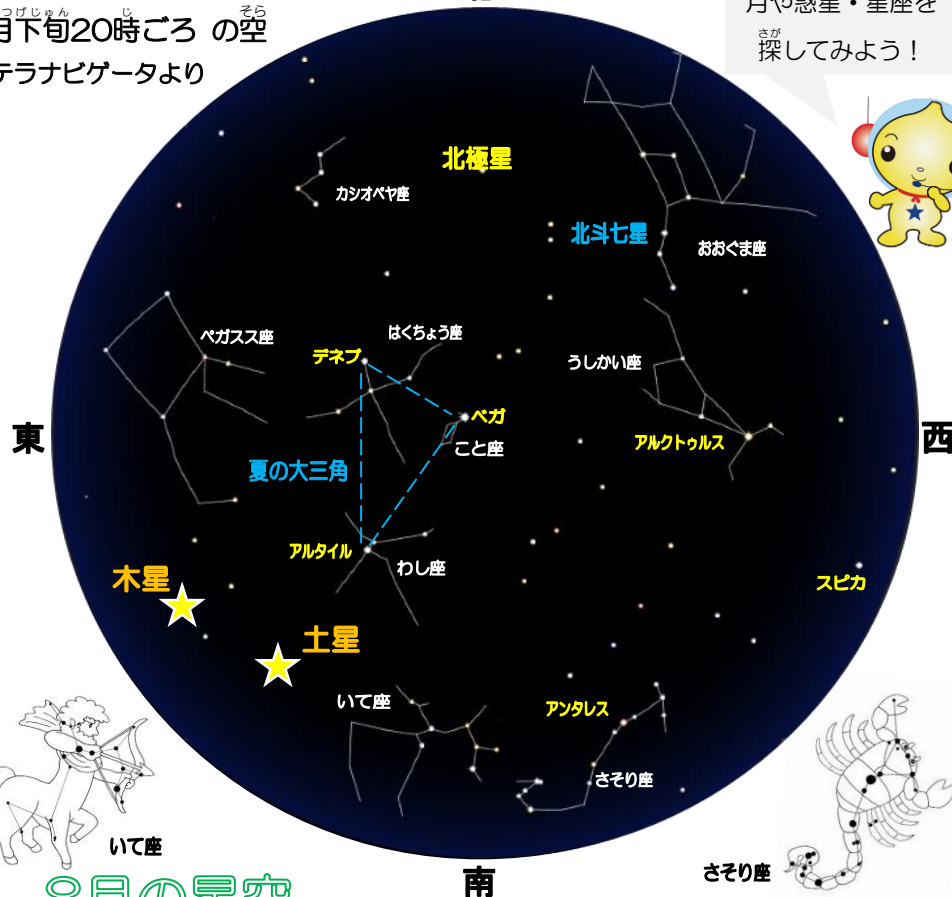


月刊 星空の散歩道 2021年 8月号

8月上旬21時ごろ
8月下旬20時ごろの空
ステラナビゲータより

北

つき わくせい せいざ
月や惑星・星座を
さが 探してみよう！



8月の星空

☆夜空の主な星座と明るい星☆

西の空に春の星座、南の空に夏の星座、東の空に秋の星座が見えています。

- < 西 > うしかい座 (アルクトゥルス)
- < 天頂 > こと座 (ベガ)、はくちょう座 (デネブ)、わし座 (アルタイル)
- < 南 > さそり座 (アンタレス)、いて座
- < 東 > ペガスス座
- < 北 > 北極星、おおぐま座、カシオペア座

☆天文トピック☆

8月 7日 立秋

夏至と秋分の日。一年でもっとも暑くなる時期ですが、暦の上では秋の始まりとされます。

8月12日～13日 ペルセウス座流星群が極大
「天文コラム」参照。

8月14日 旧暦七夕 (伝統的七夕)

昔のカレンダーでの七夕。

8月20～22日 月と惑星が並ぶ

月が20日には土星、22日には木星に近づきます。

☆月の形の変化☆

8月 8日	新月	●
8月 16日	上弦	◐
8月 22日	満月	○
8月 30日	下弦	◑

☆8月の惑星☆

金星…夕方、西の空
木星…ほぼ一晩中
土星…ほぼ一晩中

<天文コラム> 見えるかな？ 流れ星

夜空を瞬間に駆け抜け、消え去る流れ星。普段、街中で流れ星を見ることは難しいですが、8月12日から13日にかけてならチャンスがあるかもしれません。ペルセウス座流星群の極大期にあたっているからです。極大とはその流星群の中でも流星が多く出現する時間帯を指します。流星群はいくつかあり、ペルセウス座流星群は三大流星群のひとつとされています。

流星群の流星は、放射点から四方八方に流れ出るように現れることが特徴ですが、放射点の近くの空だけではなく、空全体で見られます。また、一般に放射点が地平から高い位置にある時間帯の方が、より多くの流星が見えます。

流星を見るには月明かりがないことも重要です。月の光は空を明るく照らすため、暗いものが多い流星を楽しむには妨げになるのです。

今年のペルセウス座流星群は「極大のタイミング・放射点の高さ・月明かりがない」、これらの良い条件が揃います。8月12日では午後9時頃から13日明け方にかけて最も多く見られるのではないかと予想されています。街中で流星を楽しむには、公園や河原など、空全体が見渡せて周囲が暗い場所が適しています。そして、目が暗い所に慣れるまで時間がかかるので、30分くらいは見上げてみましょう。時間をかけて空を眺める時は、レジャーシートなどを敷いて、寝転ぶのもおすすめです。条件が良いとはいっても、街中では1時間に数個を数えられる程度かもしれませんが、普段の日には比べれば可能性は高いので、ぜひ、チャレンジしてみてください。



伊丹市立こども文化科学館 発行日 2021年7月20日

〒664-0839 兵庫県伊丹市桑津3丁目1-36 TEL: (072) 784-1222

HP: <http://business4.plala.or.jp/kodomo/>

